



2020年3月6日

各位

会社名：株式会社ベネッセホールディングス
代表者名：代表取締役社長 安達 保
(コード番号:9783 東証第一部)
問合せ先：経営管理本部長 増本 勝彦
(TEL:042-357-3656)

連結子会社の株式譲渡に伴う特別利益の計上に関するお知らせ

株式会社ベネッセホールディングスは、本日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社サイマル・インターナショナル(本社:東京都中央区、代表取締役社長:林 純一、以下「サイマル」)について、当社の保有する全株式を株式会社 TAKARA & COMPANY(本社:東京都豊島区、代表取締役社長:堆 誠一郎、以下「TAKARA」)に譲渡すること(以下「本件株式譲渡」)を決議いたしましたので、以下の通りお知らせいたします。

なお、本件株式譲渡に伴い、2020年3月期通期決算において特別利益を計上する見込みとなりましたので、併せてお知らせいたします。

1.株式の譲渡の理由

サイマルは、1965年に日本初の国際会議の通訳エージェントとして発足し、1998年に当社グループにグループインいたしました。サイマルは、創業以来55年以上にわたり、日本の通訳業界のリーディングカンパニーとして数多くの政治・経済・文化における国際的なコミュニケーションを支えています。また近年は、通訳事業で培ったブランド力を背景に、より市場規模が大きく、成長が期待できる翻訳事業にも注力し、企業価値の向上を図っております。一方で、サイマルの事業は法人・官公庁向け主体であり売上に占める当社グループ以外からの売上が9割を超えるなど、当社グループの既存事業とのシナジーは限定的となっております。

当社は現在、主力事業の一つである「進研ゼミ」事業において利益成長を重視した戦略を実行すると同時に、介護事業の安定成長を図るなど、よりバランスのとれた収益構造を持つ事業ポートフォリオへの転換を推進しております。その実現に向けて M&A の積極的な活用を重点戦略のひとつに位置付けており、「第3の柱の構築のための M&A」「既存事業の非連続な成長のための M&A」を積極的に検討する一方、「事業の選択と集中」にも取り組んでおります。

2019年1月には、当社の連結子会社である Classi 株式会社が小・中学校向けの統合型校務支援システムに関して、業界トップクラスのシェア(*)を有する株式会社 EDUCOM を子会社化いたしました。また、2020年4月には、短期集中型英語パーソナルジムのリーディングカンパニーである株式会社スタディーハッカーの当社グループへのグループインを予定しております。更に、2020年3月に、当社の連結子会社である株式会社ベネッセコーポレーションが日本における包括的業務提携契約を締結している Udemy, Inc.に対し、さらなる連携強化のため、5,000万米ドル(約55億円 ※1ドル110円換算)の出資を行う予定であるなど、教育事業の成長領域を中心に投資を実行しております。

その一方で、2017年10月に株式会社 TMJ の当社保有全株式をセコム株式会社に譲渡するなど、事業の選

択と集中を進めております。このたび、サイマルについても、当社グループにおけるサイマルの位置付け及びサイマルの今後の事業戦略を慎重に検討した結果、TAKARA のサポートのもと事業成長を加速していくことがサイマルのより一層の発展に繋がるとの結論に至り、TAKARA へのサイマル株式の譲渡を決議いたしました。

(*)2019年5月現在、株式会社 EDUCOM 調べ。

2. 異動する子会社(株式会社サイマル・インターナショナル)の概要(2019年3月31日現在)

(1) 名 称	株式会社サイマル・インターナショナル			
(2) 所 在 地	東京都中央区銀座7-16-12 G-7ビルディング			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 林 純一			
(4) 事 業 内 容	通訳事業、翻訳事業 通訳者・翻訳者の養成学校運営事業 通訳・翻訳関連の人材派遣・人材紹介事業 通訳機材・会議機材運用事業			
(5) 資 本 金	40百万円			
(6) 設 立 年 月 日	1978年9月18日(創業:1965年)			
(7) 大株主及び持株比率	当社 100%			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	当社は、サイマルの株式の 100%を保有しております。		
	人 的 関 係	当社より、サイマルに非常勤取締役3名、非常勤監査役2名を派遣しております。		
	取 引 関 係	当社とサイマルの間には、経営管理を行う契約を締結している他、通訳・翻訳に関する取引があります。		
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態(単体)				
	決算期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
純 資 産		1,190百万円	1,159百万円	1,158百万円
総 資 産		1,929百万円	1,834百万円	1,874百万円
1株当たり純資産		838.17円	816.32円	815.61円
売 上 高		4,381百万円	4,474百万円	5,102百万円
営 業 利 益		143百万円	81百万円	70百万円
経 常 利 益		220百万円	158百万円	125百万円
当 期 純 利 益		162百万円	130百万円	129百万円
1株当たり当期純利益		114.69円	92.14円	91.29円
1株当たり配当金		114.00円	92.00円	91.00円

3. 株式譲渡の相手先の概要(2019年5月31日現在)

(1) 名 称	株式会社 TAKARA & COMPANY
(2) 所 在 地	東京都豊島区高田3-28-8
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 堆 誠一郎
(4) 事 業 内 容	グループ会社の経営管理ならびにこれに付帯する業務
(5) 資 本 金	2,049百万円
(6) 設 立 年 月 日	1960年4月15日

(7)	連 結 純 資 産	15,359 百万円	
(8)	連 結 総 資 産	22,201 百万円	
(9)	大株主及び持株比率	株式会社野村 5.66% 株式会社みずほ銀行 4.87% 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) 4.29% 株式会社三井住友銀行 4.26%	
(10)	上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	該当事項はありません。
		人 的 関 係	該当事項はありません。
		取 引 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社と当該会社の関係会社の間には、ディスクロージャー関連の取引があります。
		関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当事項はありません。

4. 譲渡数、譲渡価額及び譲渡前後の所有株式の状況

(1)	異動前の所有株式数	1,420,000 株(所有割合:100.0%)
(2)	譲 渡 株 式 数	1,420,000 株(所有割合:100.0%)
(3)	譲 渡 価 額	4,946 百万円
(4)	異動後の所有株式数	0 株(所有割合:0%)

5. 日程

(1)	取 締 役 会 決 議 日	2020 年 3 月 6 日
(2)	契 約 締 結 日	2020 年 3 月 6 日
(3)	株 式 譲 渡 実 行 日	2020 年 3 月 31 日(予定)

6. 今後の見通し

本件株式譲渡により、2020年3月期の個別決算において、約41億円の特別利益を計上する予定です。また、2020年3月期の連結決算において、現時点においては約32億円の特別利益を計上することを見込んでおりますが、今後の状況によっては金額が変動する可能性がございます。なお、2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、現在精査中です。確定次第、業績予想の修正が必要となる場合は速やかに公表いたします。

以 上